

令和7年度 学校評価報告書(目標設定) 実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	○生徒の実態や社会情勢に合わせたカリキュラムマネジメントの促進 ○「わかりやすい授業」の組織的な展開による基礎学力の定着と主体的で深い学びの実現	①全教員が、自ら課題を見つけ、学び、考える授業を実践できるような仕組みを整える。 ②全教員が、よりわかりやすい授業づくりに取り組みの仕掛けをつくる。	①「生きる力の醸成」を意識した授業を実践するよう全教員に働きかけ、その成果を生徒による授業評価ではかる。 ②全教員が授業改善を目的とした授業見学を行い、その結果の報告から成果をはかる。	①授業を通じて「生きる力」がついたと評価した生徒の数(割合) ②授業見学を通じて、自己の授業改善につながった教員の人数(割合)
2	生徒指導・支援	○社会で生き抜くために必要な力を身につけられる支援の推進 ○外部資源を最大限に活用した組織的な相談体制・支援体制の充実 ○主体的・積極的な活動の支援体制の確立	①規範意識を含めたソーシャルスキルを身につけ、主体的に判断・行動できるようにする。 ②サポートドックをさらに活用する仕組みを構築する。	①講演会では生徒の理解度が高まるよう準備・工夫を行う。 ②引き続き、サポートドックの結果を見える化して外部支援に繋げる。さらに長期の支援を見据えた計画づくりに取り組む。	①各種講演会後のアンケートにおける生徒の理解度 ②サポートドックの結果をSC・SSW・外部機関と共有し解決に結びつけたか。
3	進路指導・支援	○社会的・職業的な自立を果たす組織的かつ計画的なキャリア教育の展開 ○必要な資質・能力を身につけ、たくましく社会を生き抜く力の育成	①生徒が主体的に選択し、希望する進路を実現できるよう支援する。 ②外国つながり・福祉的就労を必要とする生徒の進路支援体制を強化する。	①ガイダンス・説明会を充実させ、希望する生徒には1年次から参加させる。 ②外国つながり・福祉的就労担当者による情報の一元管理を行い、担任サポートを実施する。	①実施したガイダンスの件数、参加者数及び参加した生徒の評価 ②外国つながりや福祉的就労に関する各種数値
4	地域等との協働	○積極的な情報発信と地域との連携による信頼される学校づくりの推進 ○地域を通じた社会と関わる力の育成	①本校の特色を中学生等に正しく理解してもらう学校説明会・個別相談会づくりを進める。 ②ボランティア活動に参加する中で、生徒の成長につながる支援を実施する。	①説明会のアンケートの回答をフィードバックし、以後の説明会等の充実を図る。 ②ボランティアガイダンスで意義や趣旨を徹底する。	①説明会等における来場者(生徒・保護者)の満足度 ②ボランティア活動の趣旨が生徒に伝わったか。
5	学校管理 学校運営	○事故不祥事防止・防犯・防災等の意識を高め、生徒の安心・安全な学校生活を確保 ○組織的な活動による学校としての一体感の醸成	①全員で協調しながら、主体的に判断・行動できる力をつける防災教育を実践する。 ②個人情報等の管理を徹底するとともに、情報セキュリティにも万全の対策を講じる。	①目的意識を持たせようとして、DIGや防災訓練を行うなど内容の充実を図る。 ②日常の管理体制の点検及び見直しを行い、脆弱性を発見しだい改善する。	①生徒アンケートで確認する防災意識の高まり ②改善項目、内容及び回数より総合的に評価